

令和4(2022)年度本校教員アンケート集計結果

(45名提出)

ア：よくあてはまる ウ：あまりあてはまらない		イ：ややあてはまる エ：あてはまらない		ア	イ	ウ	エ	無回答	コメント			
1 ニーズに応じた教育												
(1)	教職員は、児童生徒の学ぶ意欲を高めるため、一人一人に応じて適切な内容となるよう指導を工夫している。	32	13	0	0	0	・「保護者のニーズ」の「ニーズ」を日本語にしたほうが、曖昧さを回避できるのではないかと。 ・将来を見通したとき、「万が一を避けるための指導」と「ニーズに合わせた指導」の線引きが難しいと感じることがある。 ・合理的配慮に関して解釈に個人差があるため、担任の思いが伝わりにくい場合がある。 ・人や立場により、ニーズの捉え方や指導の方向性が異なる場合があるため、多面的に捉え、すり合わせていく必要がある。 ・医療的ケアのための保護者待機が多く、保護者への負担が大きかった。今後、学校看護師の勤務対応を考える必要がある。 ・ニーズに応じた授業を行っている。また、自宅にてリモート授業を実施し、学びの保障をしている。 ・ICTの活用については、個人差が大きい。					
		71.0%	29.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
(2)	学校は、ICT機器を活用し工夫した授業を実施している。	28	16	1	0	0						
		62.0%	36.0%	2.0%	0.0%	0.0%						
(3)	教職員は、本人や保護者のニーズを踏まえて接している。	29	16	0	0	0						
		64.0%	36.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
2 安心・安全な教育環境												
(4)	学校は、児童生徒の安心・安全を考えた学習活動や行事等を行っている。	34	11	0	0	0	・「安心安全な教育環境」として、制限しすぎた教育環境にならないように気を付ける必要がある。 ・車椅子の生徒が安全に避難できるよう学習時の教室など、校内の環境整備を行う必要がある。 ・緊急事態に向けて、マニュアル化をバージョンアップしながら進めている。 ・廊下のカーペットは、車椅子操作には不適切なため、対応を検討してはどうか。 ・教職員が感染した場合や濃厚接触者等となった場合の学校の対応について見通しを示してほしい。また、学部によって学校の対応が異なる場合は、その理由についてもはっきりするとよい。					
		76.0%	24.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
(5)	学校は、児童生徒の安全に配慮し、校舎内外の環境整備や感染症予防のための対策に努めている。	30	15	0	0	0						
		67.0%	33.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
(6)	学校は、本校のいじめ防止基本方針に基づく「いじめの起こらない学校づくり」に向けて取り組んでいる。	35	10	0	0	0						
		78.0%	22.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
(7)	学校は、児童生徒の気持ちに寄りそった教育活動を行っている。	35	10	0	0	0						
		78.0%	22.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
3 医療機関との連携												
(8)	学校は、交流及び共同学習で児童生徒の実態に応じて工夫して取り組んでいる。	28	17	0	0	0				・医療機関との連携では、それぞれの状況や考えを十分に伝え、連携を図っていくことが必要である。 ・個人情報保護の観点や感染症対策の点から、連携が難しいと感じることがある。 ・主治医訪問を教育的立場から実施方法を検討していきたい。		
		62.0%	38.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
(9)	学校は、地域や関係する医療機関等と連携するよう努めている。	32	12	1	0	0						
		71.0%	27.0%	2.0%	0.0%	0.0%						

(10)	学校からの情報がホームページや各種たより等を通じて適切に届いている。	21	24	0	0	0
		47.0%	53.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4 協働体制

(11)	私は本校教員として、本校の保護者と信頼関係を構築している。	27	18	0	0	0	・馴合いにならないよう注意が必要である。 ・医療的ケアのための保護者待機では、保護者の負担が大きい。今後改善が必要ではある。 ・一斉メールを活用しているところだが、職員への連絡が口頭だと一律ではないことがあるため、状況に応じ一斉メールをさらに活用するなどの検討してはどうか。 ・業務内容の引継ぎの工夫や精選、また業務量の負担や偏りについて改善が図れるとよい。 ・所属学部以外のことが見えにくい。校内の情報を共有できる工夫が必要である。
		60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
(12)	私は本校教員として、教育に使命感を持って取り組んでいる。	35	10	0	0	0	・一人で解決しようとしがちだが、いろいろ話せる雰囲気作りを大切する。
		78.0%	22.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

本校の教育目標・重点項目についての意見

- ・協働体制について、3つの教場があり、それぞれの様子が見えにくく、情報等の共有が難しい面がある。
- ・おおむね達成できていると思うが、地域と連携して学校づくりができていたと言いがたい面がある（限度があるため）。
- ・保護者と連携し、児童生徒の実態把握を行いながら個々に応じた指導や支援が行われている。
- ・コロナ対策や年に数回行われる避難訓練の実施などから安全な学習環境づくりが行われている。
- ・分かりやすく素晴らしい目標だと思う。あらためて読み返すと、重点目標と【 】内の標題にずれがあるようにも感じる。
- ・4点目の「やりがいのある」は省き、「発揮できる学校づくり・・・」にしてはどうか。または、「働きやすい」など文言に入れてはどうか。
- ・教育目標の「社会に参加、貢献」の部分の「貢献」をもう少しやわらかい文言にしてもよいのではないか。
- ・コロナ感染の対応については、医療機関とそれぞれの状況や考えを伝え、連携を図っていくことが必要である。
- ・実態の幅が広く、個々の心身の健康や人権を守りつつ、個に応じた指導の工夫が改めて必要だと感じている。